



日本の“宝島”あまくさ

ほんど

まちづくり協議会だより



あるものを生かして、ないものをつくる ～地域の人たちの強い意識で小さな花火を！～

平成24年の新春を、皆様にはご家族あそばさるいで、あ運やかな中にお迎えになられたこととお喜び申し上げます。昨年は国内外大荒れの年でした。今年が国内外ともに平穏で平和な年になるよう願っています。

安田市長は、年頭に「今年は覚悟の年である。合併して8年、原点に戻って市の基本構想を実践していく。市民の『幸せ』増大のため頑張る」と語られています。幸せとは必ずそれぞれが豊かになることだと考えます。行政だけに頼るのではなく、自らの地域は自ら創るという覚悟が必要です。

これからの地域づくりは、人と人をつなげることでなく、観光を売り物にする地域、温泉、史跡、自然、施設など地域資源に頼るのではなく、それらを生かしてこれまでに無かった価値を創造していかなければなりません。

あるものを生かしてないものをつくる、あるものの見方を変えて新しい価値を創造する。これまでは、何か補助をつくったり、町や町の補助金を当ててイベントを仕組んだりといったものが多かった。自分たちの内情からやむを得ず溢き上がってくるものから出発することは少なかった。その土地を暮らす人たちが、自らの問題意識と、自分と向き合えば、もっと良くなりたいたいという強い思いから生まれたものでなければ、どんなに予算を投じて、自分のまちは元気になっていかないと思えます。

地域活性化の主体は、そのまちの人たち以外にはいないのです。前向きな物差しで目の前のものを眺めてみるごことが必要です。

まちおこしのためのまちおこしになってはならない。誰と誰、何と何をつなげれば化学反応が起きるのか、どうコーディネートすればベストな結果が得られるのか、市民の意思とは関係ないところで、まちおこしとか地域活性化の名のもとに、上から巨額で効果のないトップダウンの政策を行うようでは、まちは疲弊したまま終わってしまうかもしれません。立派な施設をつくる、新しさはあっても集客は長続きしない、予算を掛けて大々的なイベントを開催しても、一過性で終わることが多い。地域の人たちの意識が強いものでなければ、公的産業支援は、期待されているような効果が現れず、結果に結びついてこないのです。

大きな花火は夜空をいっぱい広げてインパクトがあります。次の花火が上がるまで時間がかなり、その間は深夜です。小さな花火が連続して夜空を彩ることができる。地域活性化も同じで、小さくとも次々の成功事例が打ち上げられることの方が地域の人たちをやる気にさせ、活力を生み出します。小さな事例であれば、まちの人たちが自分でもできるかもしれないと思えるからです。いっしょにチャレンジしませんか？



本渡まちづくり協議会
会長 中川 竹治

Vol. 8

2012年2月15日号

CONTENTS

- 会長あいさつ 1
- あるもの探しの地域づくりを 2~3
- 各地区振興会の取組みを披露 4
- イベントでんご盛り 5
- ほんどの振興会は「元気」バイ 6~7
- お知らせ 8

ほんどのいま

平成24年1月1日現在
H23.7.1の比較

【本渡南】	男.....4,254人 (-73)	女.....4,924人 (-52)	計.....9,178人 (-125)	世帯数...3,873 (13)	高齢率...26.4%
【本渡北】	男.....5,166人 (+17)	女.....5,701人 (+50)	計.....10,867人 (+167)	世帯数...4,538 (+48)	高齢率...20.9%
【亀場】	男.....2,042人 (+28)	女.....2,345人 (+27)	計.....4,387人 (+153)	世帯数...1,744 (+25)	高齢率...19.8%
【柘手土】	男.....374人 (-10)	女.....380人 (-6)	計.....754人 (-18)	世帯数...273 (-2)	高齢率...34.2%
【志柿】	男.....1,472人 (+13)	女.....1,683人 (+22)	計.....3,155人 (+19)	世帯数...1,255 (+16)	高齢率...24.7%
【下浦】	男.....913人 (-16)	女.....1,034人 (-37)	計.....1,947人 (-53)	世帯数...768 (+3)	高齢率...37.2%
【楠浦】	男.....1,228人 (-25)	女.....1,381人 (-14)	計.....2,609人 (-39)	世帯数...897 (-3)	高齢率...31.2%
【本町】	男.....924人 (-17)	女.....1,024人 (-15)	計.....1,948人 (-32)	世帯数...661 (-1)	高齢率...31.4%
【佐伊津】	男.....1,659人 (-8)	女.....1,887人 (-32)	計.....3,546人 (-23)	世帯数...1,443 (+11)	高齢率...37.4%
【宮地岳】	男.....298人 (-6)	女.....311人 (-10)	計.....609人 (-15)	世帯数...261 (-2)	高齢率...42.0%
【合計】	男.....18,330人 (-91)	女.....20,667人 (-113)	計.....38,997人 (-204)	世帯数...16,013 (-88)	高齢率...25.9%

編集・発行
本渡まちづくり協議会

【事務局】
天草市企画部地域振興課内
(コミュニティ推進係)
〒863-8631
熊本県天草市東浜町8-1
TEL 0969-23-1111
FAX 0969-24-3501

お知らせ

笑顔と元気の講演会！ ～本渡まちづくり講演会を開催します～

今年、福岡の直売所から元気なおばちゃんを講師に迎え、「農業」と「食」にまつわるお話をしていただきます。自分がどうにかしなければいけない」という気持ちから直売所を設立して、福岡の中心地で人気の高い農産物直売所「ぶどう畑」にまで発展。とにかく元気で笑顔のスラキなおばちゃんのお話を聞いてみてください。

「あなた」の心に変化があるかもしれません。
【日時】平成24年3月9日(金)
午後7時～受付(午後7時30分開会)
【場所】天草市民センター 大会議室(2階)
【講師】有限会社 ぶどう畑
代表取締役 新藤玉千さん



入場無料

本渡まちづくり協議会委員を募集

本渡まちづくり協議会は、本渡地域内の各町地区振興会の会長と公共団体の代表者、公募委員の合計20人で構成され、地域づくりの企画・立案をはじめ、住民と行政との協働によるまちづくりを推進する役割を担うものです。

今年6月の任期終了に伴い、協議会の委員を左記のとおり募集します。で、まちづくりに興味のある方のご応募をお待ちしております。

【募集定員】 2人程度

【応募要件】 日本渡市内に住所があり、20歳以上の人

【応募期限】 平成24年3月23日(金) ※消印有効

【応募方法】 はがきに住所、氏名、年齢、職業、応募の動機を記載し、〒863-8631 天草市役所 地域振興課 コミュニティ推進係までお送りください。

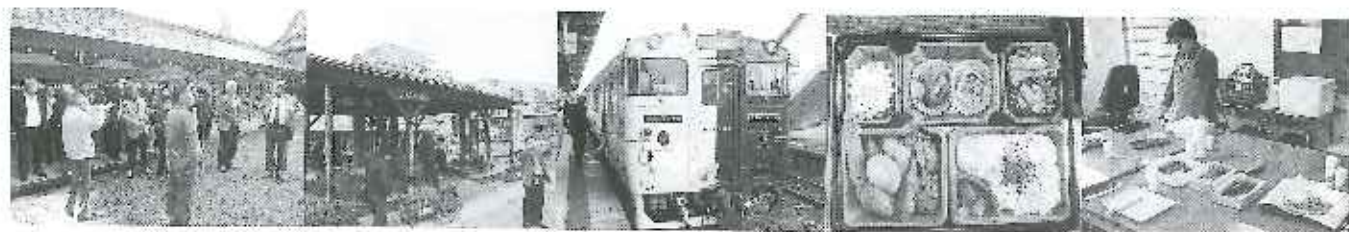
※詳細については地域振興課 コミュニティ推進係 TEL0969-23-1111(内線1348)へお問い合わせください。

なお、応募者多数の場合は、本渡地域内各地区振興会会長及び本渡まちづくり協議会事務局にて選考を行います。



編集後記

変わる、変わる、変えられる！
今、世の中はめまぐるしく変化しています。変化する環境の中で、いかに抗命に過すかを考えること、その環境に合わせて自分も意識的に変わっていく必要はないのかと思えます。天草の町振興化で例えると、日本の最先端を進んでいる。だから、最先端であるがゆえにいろんなことに挑戦し続けなければ、と考えると、楽しいのではないかと思えます。一先が見えないから大変、一先が見えないからやりがいがある、という風に意識を変えることができるなら、何かできるような気がします。立派なことをいう自分は常にマイナス思考かも。(笑)今年、もう40歳からまだ40歳！と言えらるような意識に自分を変えていこうかな。



熱心に聴き入る参加者

小さなメダカが興したまちづくり

【鹿兒島県日置市東市来町】
今回訪問した「高山地区公民館」は、131世帯236人が居住されていて、高齢化率がおよそ65%の超高齢化の

地帯だ。今回は、高齢者が活躍する地域の視察研修を行ないました。

鹿兒島県方面

～市外研修～
12月3日～4日
22人参加

地区でした。中でも車の免許を持たない人が割合、65歳以上の女性になると7割が車を持たない方で、市街地から離れている高山地区では買い物に行くのも困難という課題がある地域。解消策として移動販売業者による巡回販売を週2回お願いして生活用品などを購入されているとのことでした。

また、民生委員2人ではきめ細かな対応ができないため、民生委員のいない地区には民生委員協力を置いて、月1〜2回程度高齢者宅を訪問し、安全確認、現状把握などに努めながら、心配事の相談などにも応じておられました。私たちの地区は高齢者ばかりです。それでも自分たちの地域は自分たちしかいない訳ですから、自分たちで守らないうちですわね。」と笑顔で言われたことが心に残った研修でした。

JR指宿のたまて箱 (試乗見学)

非常に人気の高い観光列車が九州でも走るようになり、



きれいにデコレートされた車内

JR二角線では、A列車が走るようになりました。

今回は、南九州を走るユニークな「指宿のたまて箱」に試乗。名前の由来は指宿に伝わる浦島太郎伝説に因んでつけられており、外観も内装もこれまでの列車とは違い、ホスターやイラストで賑やかに装飾してあったり、海側は海に向かった座席があったり、図書コーナーや子どもが遊べるスペースがあったりと、1時間の旅があったという間に終わるほどの充実した車内となっていました。



ボランティアガイドの説明を受ける参加者

霧島観光ボランティアガイド体験

霧島観光ボランティアガイド「霧島しんちよいどん」に依頼し、霧島神宮周辺の散策を体験。普段の参加では入れないところも見せていただいたり、歴史や伝説など詳しく説明をしながら見学したりすることができ、見ただけでは分からないことがたくさんあると感じました。

その地に関することを知りつくした方の説明を受け、話し方の強弱や笑いなど、聞かせる一ガイドを体験することができました。

今年度の事業報告



本渡まちづくり協議会では、地域づくりと地域を担う人材の育成に役立てようと「まちづくり研修事業」と「人材育成事業」を実施しています。これらの事業は、「地域づくり」に触れていただく機会を設けることでより身近に感じていただき、また、市内の他地区振興会と交流することにより、自身の地域づくりのちょっとしたヒントになればということで、事業を行ってきたものです。

まちづくり研修

城河原地域づくり振興会との交流

～市内研修～
10月25日
17人参加

城河原地域づくり振興会では、基本方針である住民総参加のもと、ホタルの里で、さらめく、☆城河原☆をめぐり、3つの重点プロジェクト事業に取り組みをおられました。

特産品の推進部会では、市のチャレンジ支援事業を受け「いくり」の特産品づくりに取り組み、いくりの生産量を増やすためにいくりの苗を安価で地区の方へ販売するなど、計画に沿った事業への取り組みが印象的でした。環境推進部会では、基本方針であるホタルの飛び交う川を守っていくための活動を地域全体で行うなど、活発な取り



城河原の方々との意見交換の様子

組みが分かりました。目指すべき方向を住民みんなで策定していることもあり、一つの事業の取り組みの目的がしっかりしているというのを感じました。

柄本まちづくり協議会地区振興会との交流

～市内研修～
11月16日
21人参加

柄本地区振興会では、振興会設立に伴い、「カッパ」を基本にしたまちづくりを再スタートさせ、まちづくりに関する



柄本の方々との意見交換の様子

アンケートを行い、アンケートの結果や、住民の声を最大限まちづくりに反映させ活かしているとのことでした。また、部会とは別に、各事業の推進プロジェクトチームが6チームあり、それぞれで課題の解決に向けて取り組まれています。

一方、柄本ではたくさんのおりデジタルグッズやお菓子、焼酎を売って販売するなど、コミュニティビジネスにも積極的に取り組んでおられました。

研修会に参加して

宮地地区振興会会長 龍石昭好



平成23年12月3日、4日にかけて、左記の3地域を視察研修しましたので、その結果を報告します。

1、高山地区公民館（鹿見島 果川町）

2、JR指宿線の「指宿たまたま箱」（試乗）

3、霧島神宮ボランティアアゲイト（霧島市）

◎高山地区公民館について

日置市の最北端の山間部に位置し、現在131戸計236名が居住している（高齢化率65%）の地区である。主な産業は、農畜産業である。定期のバス路線はなく、公共の交通機関はコミュニティバスだけである。平成22年3月末6自治会（区）を統合し高山自治会（区）として発足した。

①移動販売業者による巡回販売 高山地区には、日用品食料品を販売する店が軒も無く、買い物難民の高齢者等のため、週2回巡回販売を実施している。自宅近くで買物ができると好評である。

②民生委員協力員による訪問相談

80才以上が31%と高齢者が多く、民生委員2名ではきめ細かな対応ができないため、民生委員不在の地区には、民生委員協力員を置いて月1〜2回程度高齢者宅を訪問し安否確認など現状把握に努めている。

③地区出身者（地区外居住）の協力、参加を求める

地区運動会、ふるさと秋祭り、河川や市道等美化作業は高齢者が多いため、地区出身者の子や孫、友だちにも呼びかけ、近隣だけでなく市外、県外からの参加を呼びかけている。毎年楽しみにしているこの声もある。また、栗木場地区では、平成12年から始まった中山間地域等直接支払い制度を利用し、水路ため池等の整備を図り、スタカカの繁殖を促し、棚田を復活再生し地域おこしにつなげている。

◎JR指宿線の「指宿たまたま箱」について

JR九州では新幹線の開通に伴い、その効果をローカル線まで広げるため、観光列車の新設を行った。平成23年3月12日の九州新幹線（鹿児島ルート）の全線開通にともなうて翌13日から運転を開始したのが「指宿たまたま箱」であった。2両編成の車内は木材を使った2人掛けの回転リクライニングシート、大型ディスプレイ、4人用のソファ、常時窓側を向いた1人掛け用の席も用意されバラエティーに富んだものになっていた。

指宿駅から鹿児島中央駅までの55分の旅は快適であった。 ◎霧島神宮ボランティアアゲイト 霧島市、明治維新期に活躍した、西郷隆盛や坂本竜馬などゆかりの地を主に案内する地元ガイドである。アゲイトは、霧島神宮コースであったが、観光旅行ガイドでは案内できないところを案内していただき、改めて霧島神社の奥深さを知った。

地元の人ガイドは地元を知り尽くした言葉で分かりやすく、新しい発見があった。その土地の歴史を止しく発信しようとする心がまえが参考になった。



このたび、本渡まちづくり協議会のHPを開設いたしました。このHPには、本渡まちづくり協議会からのお知らせや活動報告などいろいろな情報を載せていきたいと思っております。みなさん、ぜひ、遊びにいらしてください。 ご意見・ご要望、またこんなのを掲載してほしいというものがありましたら、事務局までご連絡ください。 「本渡まちづくり協議会」 http://hp.amakusa-web.jp/a0922/myHp/pub/ 事務局 地域振興課 コミュニティ推進係 TEL 23-1111（内線1343）

第2回天草市まちづくり 地域づくり表彰で努力賞を受賞!!

～コミュニティかめば塾「まちの台所」～

2年からはじめた、天草市まちづくり・地域づくり表彰（天草市まちづくり協議会連合会主催）の、「コミュニティかめば塾「まちの台所」」（地域地区振興会）が、努力賞を受賞されました。



講演会に先立ち表彰が行われました

「まちの台所」では、高齢者の安全確認（声かけ）をかねた昼食の宅配サービスと、市民の会食の場（サロン）としての機能を整備しておられます。町民の生涯学習作品の展示や、子どもたちや高齢者、地域住民との交流も深められていて、火曜・木曜・土曜の週3回は「まちの台所」で、食材にこだわったおいしいランチも提供されています。



皆さんも是非一度食べに行かれてみてはいかがでしょうか？

「まちの台所」が開催されました。

1月28日、天草市民センターで大草市主催による「日本一の宝島 天草」づくり講演会が開催されました。当日は、天草市全域から約300人が参加。Studioにお越しの地域再生を「おもしろい」(スタジオ)にお

勧めの内上ありさんが「島のまちおこし」島が。地域が。そして、あなたが元気に。なりますようにと願って、これまで取り組みなどについて講演をいただきました。

Studioは、住民と行政、住民と民間企業など、地域に根ざした協働事業を支援されています。そこに住む人たちのモチベーションに働きかけ、最終的には行動できるようなプロセスをデザインし、必要とされる支援を提供するというのが、Studioのデザインという視点から多くの地域再生を手がけられておられるそうです。

イベントてんこ盛り

そこにお勧めの西上さんは、大学時代から兵庫県姫路市家島地区のまちづくりに関わり、家島町の企画財政課、海上町教育委員会の非常勤職員を経て、全国各地で島振興や地域づくりの支援をされておられるそうです。講演の中では、自ら体験された西のおばちゃん活動のユニークな話や、海

楽しみながら、笑顔でタスキをつなぎませんか？

【場 所】 楠浦公民館 【問い合わせ】 2月24日(金)までに楠浦町公民館へお申し込みを。詳しくは、楠浦地区振興会のホームページ又は楠浦町公民館(☎23-4456)まで。 9時～受付・9時20分～開会式・10時スタート



見守り袋の配付を行いました!!

下海地区振興会 会長 富安 英 猛

下海地区振興会、下海町地区協議会などの共催で「見守り袋配付事業」を行いました。

これは地域で暮らす高齢者が安心して暮らせる生活環境づくりを目的に、緊急入院時や災害時の緊急避難時に対する備えとして、「洗面器、スリッパ、箸、トランプ、巾着袋」などをリュックサックに入れて高齢者へ配付したものです。

一方で、隣町の志村町に続き2番目に行った取り組みで、11月19日から12月1日まで、見守り袋を有償で30人を超える高齢者のお宅を訪問し配付。届いた方から「使わないのが一番だけど、これがあれば安心です」などのお礼の言葉が寄せられました。



見守り袋配付の様子
配付した見守り袋

タスキをつないで37年目!

～町内一周駅伝大会～

本町地区振興会 会長 鶴田 正 人

本町地区振興会では年明け最初の行事として町内一周駅伝大会を行っています。「健康増進と市民の親睦と親和」を目的に1月29日で37回を数えるまでになりました。

町内一周17.7km、小学生から壮年まで16区間でタスキをつなぎます。各チームの体育部長さんには選手選手で最も苦痛をかける大会ですが、沿道の声援と走り終わった選手の実績は格別のものがあります。またオープン参加として町内の福祉施設からの出場もあり大会を盛り上げたいと思っています。

大会では地区の高齢化など懸念もありますが、「本町が駅伝を続けているならうちも参加したい」と駅伝大会を実施している町もあるとのこと。この伝統ある大会を今後も息長く継続していければと思っています。



町内一周駅伝のスタート

第1回高齢者ふれあい交流会を開催!

佐伊津地区振興会 会長 洲崎 豊 裕

つつい家と閉じこもりがちな高齢者の方々へ、楽しい時間を過ごしていただくとうと10月26日、佐伊津町公民館で「第1回ふれあい交流会」を開催しました。

最初は、どきどきとも緊張し、会話をまとまらされていきましたが、いくつかゲームをするうちに笑い声や歓声が上がり、とても楽しそうでした。ゲーム終了後は、茶会を実施。この時にはどきどきもすっかり打ち解けて話が弾み、帰りには「今日は楽しかった。1年に2回は実施してほしい」との嬉しい声も聞かれました。

この交流会が、ふれあいを深めるきっかけになればと思っています。



お子玉ゲームを楽しみ参加者たち

楠浦町の歴史探訪の拠点を整備!

楠浦地区振興会 会長 鬼塚 邦 照

市立さぶくりチャレンジの支援事業交付金を活用して昨年度、眼鏡橋周辺に花畑の整備や大世案内板などを設置し、楠浦の歴史探訪の拠点として整備。今年度は、町内に点在する文化財や名所旧跡などに説明板や誘導板を設置しました。

10月には、『第2回眼鏡橋フォトコンテスト』、1月8日には健康づくりと納涼の良さを改めて味わうために『第2回眼鏡橋よかとこスタンプラリー大会』を開催。参加者は、楠浦よかとこ案内案内の案内で、町内の文化財や名所旧跡などを探訪しました。今後も歴史文化など楠浦のよかとこのPR活動や後世に伝える活動などを推進します。



説明するよかとこ案内人

ほんだの振興会

は

男性の料理教室を開催!

本海地区振興会 会長 海江田 雅 晴

12月14日、天草市中央公民館で男性の料理教室を開催しました。これは、料理が苦手な男性や日ごろの献立に悩んでいる男性を対象に、普段の食生活の改善や作る楽しさを知ってもらうことを目的として、毎年3回開催しています。当日は12人が参加し、保健スタッフの栄養士による講話「体にやさしいお酒の飲み方」のあと、鍋めしや袋煮、ごぼうの味噌マヨネーズづくりを体験しました。食生活改善推進員の手ほどきを受けながら、和気あいあいとした雰囲気の中、料理づくりを楽しみました。参加者からは、「だんだんコツがつかめてきた」と「自分で作った飯をよほどは食べるのもいい」という声をいただきました。



料理教室の様子

児童と民生委員が“こま回し”で交流!

本渡北地区振興会 会長 鶴田 克 幸

1月13日、「こま回し体験教室」を本渡北小学校グラウンドで開催しました。これは、本渡北地区の民生・児童委員協議会が、伝承遊びの体験を通して子どもたちとの交流を図るべく毎年実施しているもので、今年度は5日（本渡北地区振興会共催）。

当日は、同校7年の児童105人が、元・同協議会会長の島岡富雄さんが手作りのこまに、児童自身が塗色し「こま回し」に挑戦。「こま回しは初めて」という児童も、民生委員の手ほどきですぐ一達し、こまの回り具合を競い合うなどして楽しいひとときを過ごしていました。



民生委員といっしょにこま回しを楽しむ児童たち

今年もイルミネーション点灯!

本海地区振興会 会長 船元 聖 代

12月10日、本海内の冬季のシンボルづくりと、夜間オートキングする住民の安全、児童・生徒の帰宅時の安全対策を目的に、亀鏡小学校の国道沿いの並木に約1万球のイルミネーションを設置しました。これは、地域づくり部会が主管となり、平成28年「冬のシンボル事業」として始め、後南中学校の美術部の皆さんがこまコメントの制作や、設置に協力をいただき、少しずつですが地域にも定着してきました。今年も、亀鏡小学校同窓会記念事業実行委員会より「ありがとう かげほ小 136年」と、小学校への感謝の文字も飾り付けられました。1月6日(金)までの約1ヶ月、たくさんの方の口を楽しませてくれることと思います。今後まちづくり事業の一環として取り組み、地区振興会事業の理解と関心を高めるしていきたいと思っています。



イルミネーション設置の様子

「元気」バイ!

第24回伊予土ふるさとまつり

伊予土地区振興会 会長 赤石 良 一

11月13日、「第24回伊予土ふるさとまつり」を、ふるさとまつり実行委員会主催により同町公民館で開催しました。

当日は晴天に恵まれ、町内外から約500人の来客がありました。ステージイベントでは、西海荒波太鼓 や「牛深ハイヤ」をはじめ、保育園の遊戯や小学校の合唱、太極拳や小学校の先生によるバンドで大変盛り上がりしました。その他、婦人会のうたごえ、ナーや文化展示品も好評でした。

最後の実施したお楽しみ抽選会は、この日一番の盛り上がりとなり、笑い声の絶えない楽しい一日となりました。



大好評の「農産物即日販売」の様子

心のこもったお弁当に笑顔をそえて!

志村地区振興会 会長 浦田 義 孝

12月11日、平成28年度第1回ゆめあひ訪問を実施しました。これは、一人暮らしの高齢者等の宅を訪問し、手作りのお弁当をお届けする事業となっており、お互いの声を掛け合い、ぬくもりある明るく行かぬいふさづくりを目的として、毎年2回実施しています。

当日は、お弁当の配布スタッフとして、かわいい瀬戸小学校ボランティアにも協力いただき、1軒1軒訪問しました。笑顔と思いやりの心が満ちあふれ、地域や世代を越え、人との心が通じあがり、地域全体を温かく包み込みました。

平成28年度2回目ゆめあひ訪問は、2月28日(土)を予定しています。次回は、どなたかお弁当が届けられるのでしょうか?お楽しみに!



思いやりの“心”を届けた